

ぐんま版消費者教育教材 (特別支援学校高等部向け)

6 相談事例 ②オンラインゲーム課金

群馬県 生活こども部 消費生活課

令和7年3月作成

オンラインゲームの課金トラブル

むりよう み
スマートフォンで無料のゲームを見つけました



むりよう
無料ゲームだ!



む りょう はん い
でも無料の範囲では、ゲームがすぐ
おお
おわってしまうことが多いので…



つづ
もっと続けたい!



つよ
強くなりたい!



あそ ゆう りょう か
もっと遊ぶために有料のアイテムを買いたくなります。

ゲームのアイテムは

すく

きん がく

少ない金額なので、

か きん

だい じょう ぶ

課金しても大丈夫と

おも

思ってしまうます。

ぼうぎょ
防御
アイテム
¥200円



こうげき
攻撃
アイテム
¥100円



たか

そんなに高くないし!

か

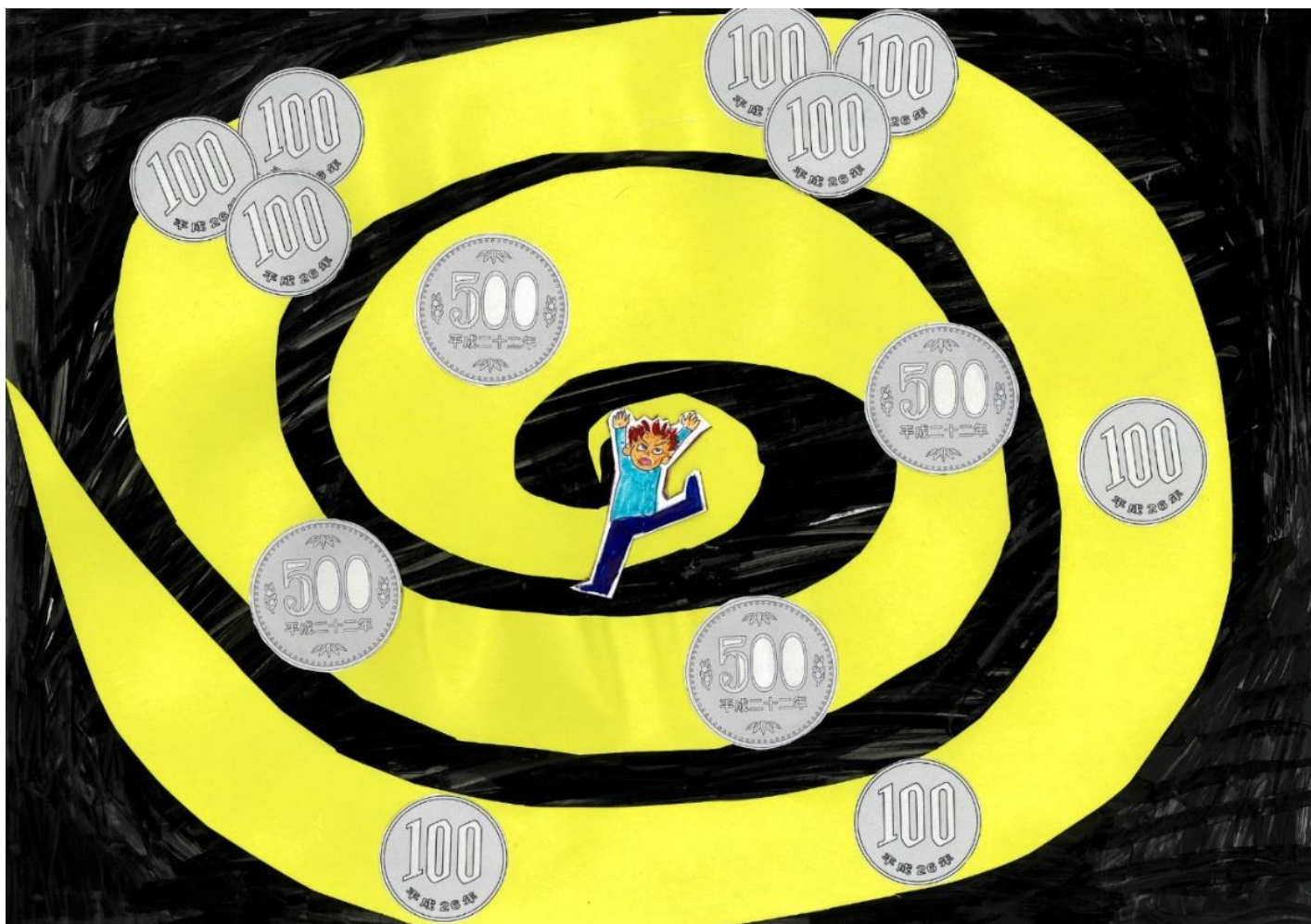
か

買っちゃえ!買っちゃえ!



か きん つ づ
ちょっとだけのつもりで課金を続けると

か きん がく つ かさ
課金の額がどんどん積み重なって…



せい きゅう しょ とど
請求書が届いてびっくり

せい きゅう しょ
請求書

まんえん
100万円

はら
払え!

つか おも
こんなに使ったと思わなかった!
はら
払えない!!どうしよう!!



オンラインゲームで

ぜったいやってはいけないこと

か ぞ く とも だち か ね ぬす
家族や友達のお金を盗んだり、

じょう ほう ばん ごう
クレジットカード情報（クレジットカード番号）や

じょう ほう あいでい
ゲームのアカウント情報（IDやパスワード）を

か っ て つか か ぎん
勝手に使って、課金することです

ほう りつ い は ん
これは法律に違反することです

ぜったいやってはだめです

もしゲームがやめられないで

よる 夜ねむれない、がっ こう い 学校に行けないなど

こま 困ったときは

お と な ほ ご しゃ せんせい まわりのたよれる大人（保護者や先生）に

はや そう だん 早めに相談しましょう。

せん もん びょういん せいしん ほ けん ふく し ほかに専門の病院や精神保健福祉

そう だん センターでも相談できます

オンラインゲーム、
や
止められないのは
どうしてだろう？



オンラインゲーム、止められないのはどうしてだろう？

□ スマホゲームはいつでも、どこでもできる。

□ 課金^{かきん}すれば、だれでも強^{つよ}くなれる。

□ やればやるほど、結果^{けっか}が出て、
他^{ほか}のユーザーから認め^{みと}られる。

□ ゲームを止めてしまうと、これまでに使^{つか}った
時間^{じかん}やお金^{かね}、がんばったことが無駄^{むだ}に
になってしまう。



か きん へ
課金を減らすには
どうしたらよいでしょう？



^{か きん}課金^へを減らすために^{かんが}考えてみる^{こと}

^{ゆうりょう}有料のアイテム
□ ゲームをつづけるために、
^{ひつよう}は必要？

^{か きん}課金^{せいかつ}しても生活^{こま}に困らない？

^{ゆうりょう}有料のゲームで使う^{つか}お金^{かね}は、自分の^{じぶん}小遣い^{こづかい}
□ ^{きゅうりょう}給料^{はら}で払える？

^{かきん}課金^{かけい}したか、家計簿^ぼや
□ ^{こづか}小遣い^{ちょう}帳^{かくにん}をつけて確認する？

課金を減らすためにできること

- ゲーム課金の方法をプリペイドカードに
限定する。
- スマホのスクリーンタイムを活用して、利用
時間を制限する。
- スマホは手元に置かないで、外ではかばん
に入れる。自宅では置き場所を決める。
- スマホは顔・指紋認証をやめて、暗証番号
やパスワード入力で画面ロック解除する。

つか じぶん き 使いすぎないように自分でルールを決めよう

いっかげつ か きん じょうげん きん がく
□ 1ヶ月の課金の上限金額は？

_____ 円

か きん し はら ほうほう
□ 課金の支払い方法は？

プリペイドカード ・ クレジットカード ・

けい たい りょうきん いっ しょ はら けっ さい ほか
携帯料金と一緒に払う（キャリア決済）・その他

だれ かん り
□ ゲームのパスワードは誰が管理する？
_____ さん

にち なんぷん
□ ゲームは1日に何分まで？ _____ 分

かね かん り だれ
□ お金の管理をするのは誰？ _____ さん



こま
『どうしよう!』 困ったときは
しょうひ せいかつ
相談
消費生活センターに相談しよう



ぐん ま けん しょう ひ せいかつ
群馬県消費生活センター
☎027-223-3001

- 月～金曜日：9時～16時30分（電話・来所）※来所は予約制
- 土曜日：9時～12時／13時～16時30分（電話のみ）



【解説】

6 相談事例② オンラインゲーム課金

①2～6頁 「オンラインゲーム課金トラブル」

オンラインゲームのほとんどが、基本的なサービスは無料で提供され、ゲームを有利に進めるためのアイテム等を入手するために課金が必要となる仕組み。ゲームを始める時には無料の範囲でと思っていたても、ゲームに熱中すると、少額の課金ならと次々購入し、いつの間にか多額の課金をしていたという相談事例が多い。

子どもがゲーム機やスマートフォンなどでオンラインゲームを利用し、アイテムやキャラクターなどを手に入れるために、保護者に内緒で課金するトラブルがあります。

- 保護者のクレジットカードを無断で持ち出す。
- 端末に登録済みのクレジットカード情報で決済する。
- 保護者が設定した暗証番号を知り、キャリア決済(毎月の携帯電話料金と一緒に請求される方式)を使用する。
- 自宅の現金を持ち出してプリペイドカード(サーバー型電子マネー)を購入する。
など様々な課金方法が使われている。

②6頁 「請求書」

オンラインゲームの課金方法は、クレジットカードやプリペイドカードを利用することが多い。クレジットカードを持っていない子どもが、保護者(親や祖父母)のクレジットカードを無断で持ち出したり、自宅の現金を持ち出して、プリペイドカード(サーバー型電子マネー)を買うなどの事例もあります。クレジットカードの請求書を頻繁に確認する習慣が無いと、トラブルに気付くまでに時間がかかり、数十万円もの課金をしていたとの事例もあります。

ゲーム提供会社や、クレジットカード会社などに、未成年者が勝手に利用したので請求を取り下げしてほしいと申し出しても、未成年者契約の取消で対応されるとは限りません。カードの管理責任を保護者が問われる場合もあります。

③8頁 「専門の病院や精神保健福祉センター」

ゲームをやめたいと思っているのにやめられない。他のことをしていてもゲームのことばかり考えてしまう。自分の意思でコントロールできず、ゲームのやり過ぎにより日常生活に支障が及んでいる状況は、「ゲーム依存」の状態といえます。「ゲーム障害」という病気として定義されており、医療機関や精神保健福祉センターで相談することができますが、まずは掛かり付けの医師に相談してみましょう。

群馬県内の精神保健福祉センターは「群馬県こころの健康センター」といいます。ゲーム・ネット依存に悩む当事者やご家族から電話相談でお話をうかがい、適切な相談窓口を案内しています。電話相談は027-263-1156(平日9時～17時 年末年始を除く)です。

22～23頁に群馬県こころの健康センターの『知っていますか？子どものゲーム ネット依存のこと』のパンフレットを掲載しています。参考にしてみてください。

④13～14頁「課金」の支払い方法

クレジットカードやプリペイドカード、キャリア決済などお金が見えない方法(キャッシュレス決済)でゲーム課金をすると、お金を使った感覚がなくなり、使いすぎてしまうことが多く、注意が必要です。

⑤14頁「ルール」

使い方のルールを家族や保護者を話し合ってからゲームで遊ぶことで、安全にゲームが出来る環境を作りましょう。

⑥19～21頁「チェックリスト」「ルール」の例

14頁について考えた後、それぞれの例を参考資料として、提示することもできます。

⑦20頁「ペアレンタルコントロール」

ペアレンタルコントロールとは、子どもがインターネットやスマホ、パソコン、ゲーム機などを利用する際に、保護者が制限を設定できる機能です。子どもの年齢にあわせて、ゲームで遊べる時間を設定したり、見せたくないコンテンツの閲覧を制限したり、アプリの購入やゲーム内アイテムの課金を制限できます。また、アプリやゲームの利用状況を確認できる機能が備わっている機器もあります。子どもがスマホやパソコン、ゲーム機などを使いすぎていないか確かめるときにも役立ちます。

※一般社団法人 日本オンラインゲーム協会では、「子どものスマートフォン課金トラブルを防ぎましょう」で課金トラブルを防ぐための『管理・確認・話し合い』を紹介しています。参考にしましょう。https://japanonlinegame.org/Campaign_Credit/

チェックしてみましょう！

- ◇^{ゆうりょう}有料のアイテムを^か買^{じっさい}うと、^{かね}実際のお金がかかり^{ます}ます。
- ◇ダウンロードしようとしているゲームアプリは^{むりょう}無料ですか？
それとも^{ゆうりょう}有料ですか？
- ◇ゲームを進めるのに^{すす}有^{ゆうりょう}料のアイテムは^{ひつよう}必要^{です}ですか？
- ◇^{ゆうりょう}有料のゲームで^{かね}お金^{つか}を使う場合、^{ばあい}お小遣^{こづか}いや^{しゅうにゅう}収入^でで^{はら}払^{はん い}える^{おさ}範囲^に収^まま^{って}いますか？
- ◇^{ゆうりょう}有料のゲームを利用するときは^{りよう}購^{こうにゅう}入^{りれき}履^{かくにん}歴^をを^{かくにん}確^{かくにん}認^{かくにん}して^{ます}ますか？
- ◇ゲームの利用^{りよう}制^{せい}限^{げん}や、^{えつらん}閲^{せい}覧^{げん}制^{せい}限^{げん}を^{せってい}設^せ定^{てい}して^{ます}ますか？
- ◇ゲームを始める^{はじ}前^{まえ}に『^ほ保^ご護^{しゃ}者^{きよ}の^か許^か可^か』を^とと^{って}い^ます^かか？
- ◇『^{ねんれい}年^{かくにん}齡^{かくにん}確^{ただ}認^{ねんれい}』で^{ただ}正^{ねんれい}しい年^{ねんれい}齡^{ねんれい}を^たた^ちに^まし^たか？

ルールづくりのヒント

◇ゲームの使い始めに、ユーザー登録をするときは
年齢を正しく登録し、課金の上限額を設定する。

◇ゲーム課金はクレジットカードやキャリア決済は利用せず、
プリペイドカードを利用する。

◇ゲームで課金するときの支払い方法（決済方法）や
上限金額などを保護者と一緒に話し合う。

◇パスワードを保護者に管理してもらう。

◇ペアレンタルコントロールを活用する。

◇新しいゲームを始める前に利用規約を保護者に確認して
もらう。

ルールづくりのヒント 2

◇ゲームの時間は（例えば…20時まで、1日1時間、
お休みの日だけ など）

◇スマホ、ゲームは自分の部屋に持ち込まない。

◇食事中はゲーム禁止。

◇ゲーム内で知らない人と仲良くなっても、現実で会わない。

◇ゲームデータのパスワードは友達にも教えない。

◇ルールを守れなかったら（例えば…3日間ゲーム禁止など）

◇ゲームデータの売買（RMT:現実のお金を使ってユーザー
同士でゲームデータを売買すること）は絶対しない。

依存にならないためにできること

家庭内でルールを作る

家族みんなで話し合しましょう。一方的な押しつけはNGです。子どもだけではなく大人も守るようにしましょう。

<例>

- ・食事中はスマホを持たない
- ・就寝1時間前からはスマホやゲーム機をリビングに置く
- ・課金はお小遣いの範囲にとどめる

使用状況を振り返る

今日一日、どのくらいゲームやスマホを使用したか、振り返りましょう。どんなときに使っているか、やるべきことをおろそかにしていないかなどを含めて振り返ることで、ゲーム・ネットとうまくつきあっていく方法を考えることができます。



ほかに楽しめるものを見つける

ゲーム以外にも、電子機器を使わずに楽しめるものがあるといいでしょう。ゲームが生活の中で最優先にならないように、他の時間も充実させるようにしましょう。

<例>

スポーツ、読書、料理 等



よくある質問

Q 子どもを受診させたいのですが、本人に行く気がありません。どうしたらよいでしょうか。

A 子どもがゲームのやりすぎによる問題を自分では認めていない場合、無理やり医療機関に連れて行っても、治療が継続しない場合が多いです。

まずは家族だけで相談してみるか、子どもにとって医療機関よりハードルが高くない相談機関などにつながってみるのもよいかもしれません。

Q ゲームを一晚中しているのを取り上げたら、子どもに暴言を吐かれました。どうしたらやめさせられますか？

A 依存している子どもから強制的にゲームやネットを取り上げると、暴言や暴力につながることがあります。これは、ゲームやネットがこころの支えになっているからです。そのことを理解し、やめさせることばかりに目を向けず、あいさつや本人のできているところを認めるコミュニケーションから始めてみてはどうでしょうか。

ご相談ください



群馬県こころの健康センターでは、ゲーム・ネット依存に悩む当事者やご家族から電話相談でお話をうかがい、適切な相談窓口を案内しています。お気軽にお電話ください。

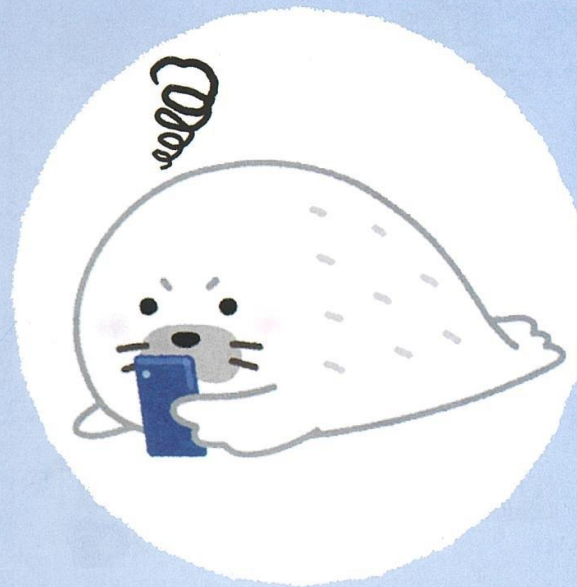
群馬県こころの健康センター電話相談

☎ 027-263-1156

(平日9時～17時 年末年始除く)

知っていますか？
子どもの

ゲーム ネット依存のこと



群馬県こころの健康センター

ゲーム依存ってなに？

2019年にWHO（世界保健機構）がICD-11（国際疾病分類）にて新たに「ゲーム障害」という病気を定義しました。

- ① ゲーム時間をコントロールできない
- ② 何よりも優先してゲームをする
- ③ ゲームのやりすぎにより日常生活に支障が及んでいるにも関わらずゲームを続ける



様々な問題が出てくる

身体面

- やせ、肥満
- 視力低下
- 筋肉量低下、姿勢悪化

精神面

- 睡眠障害
- イライラ、不安、うつ
- 暴言、暴力



経済面

- 課金額が高くなる
- 親のお金を勝手に使う



社会面

- 遅刻、欠席、不登校
- 学力低下
- ひきこもり
- 家族との不和



家族の望ましい対応

強制的にやめさせることは逆効果

ゲーム・ネットが子どもの心の支えになっていることもあります。取り上げれば、本人は暴言や暴力で抵抗し、親子関係の悪化に繋がる可能性があります。

ゲーム・ネットをやめさせることだけに目を向けるのではなく、本人の気持ちや状況にも目を向けてみましょう。

本人を褒める・認める・感謝をする

小さなことでも、本人のできているところに気づいて、言葉で褒めましょう。

褒めすぎると嫌みに聞こえてしまうこともあるため、端的な言葉で伝えましょう。

<例>

- ・勉強がんばっているみたいだね、すごいね。
- ・お皿洗いしてくれてありがとう、助かるよ。

子どもが興味をもっているものに一緒に興味を持ち、会話を増やす

まずは基本的なあいさつから始めましょう。返事がなくても、それを責める必要はありません。

子どもがやっているゲームやネットの内容について調べたり、実際にやってみることで、本人と共通の話題ができます。

普段からコミュニケーションをすることは、ゲーム・ネット依存の予防にも繋がります。

アイメッセージをうまく使う

「I（私）」を主語にしたコミュニケーション法で、相手を責めることなく、自分の気持ちを伝えることができます。

<例>

「夜遅いんだからゲームやめなさい！」
⇒「遅くまで起きていて、体にさわらないか（私は）心配だよ。」

本人・家族が相談できるところ



医療機関

家族のみで相談できる
医療機関もあります



精神保健福祉センター

群馬県こころの健康センター



自助グループ

ゲーム・ネット依存の当事者や家族でしかわからない悩みを共有することができます